

# 2018年度 IoT/AI時代における オープンイノベーション推進協議会〔OIC〕 年間計画

～共創型社会の実現と地域創生を推進する  
産学連携による新たなオープンイノベーションを目指して！～

IoT推進委員会全体会合

2018年10月18日(木)

一般財団法人 インターネット協会

IoT推進委員会

IoT/AI時代におけるオープンイノベーション推進協議会  
〔OIC; Open Innovation Consortium〕

事務局長 佐々木一人

〔株式会社インターネット総合研究所〕

**IA** *japan*

**背景と認識**

**目的**

**設立発起人**

**組織**

**OICの活動方針と内容**

**2018年度活動方針**

**2018年度活動計画**

**入会案内**

## 【背景と認識】

- 日本は、「第4次産業革命」と呼ばれる、IoT、ビッグデータ、人工知能、ロボット等、革新的技術の創出と、その活用に向けて官民あげて各種の取り組みを推進中
  - 世界に先駆けて、一人一人のニーズに合わせる形で社会課題を解決する『Society5.0』の実現を目指すとしている
  - 科学技術イノベーション総合戦略や未来投資戦略においては、「人材、知、資金の基盤的な力の強化」や「オープンイノベーションの推進に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築」等が重要と認識
  - 実現中核主体としては、知の源泉であり、次なる飛躍を生み出す苗床である大学の果たすべき役割が非常に大きいと判断
  - 新たな知識や技術、さらには、通念を生み出す大学が、自律的な経営とビジョンを持って、グローバルに競争し合う状況を作り出すこと
  - アカデミアに対して産業界が積極的に関与する仕組み作りとそのインセンティブを喚起することにより、研究開発と必要な人財を創出していくことが最も重要である
  - 加えて地域が持つ強みを活かした科学技術イノベーションを推進し、新産業・新事業の創出と地方創生を目指すためには、地域の大学が果たすべき役割が非常に大きいと認識
- ⇒ 地方国立大学等を地域経済のハブとして捉え直し、民間の研究開発投資を誘発し、オープンイノベーションを推進していく取り組みが非常に重要になるとしている。

## 目 的

私たちは、前述した背景や認識の下、

国立大学等の研究開発投資の中核化と

それを誘発するハブ化の実現を図り、

アカデミアに対して産業界が積極的に関与していくことにより、

民間企業自身の知識産業化の推進を図る、

IoT/AI時代にふさわしい

民間主導型のオープンイノベーションの加速組織体である

『IoT/AI時代におけるオープンイノベーション推進協議会〔OIC〕』を

組成し、

共創型社会の実現と地域創生の推進に寄与することを

目指します。

# 設立発起人

OICの趣旨や目的にご賛同頂いた以下の方々に発起人になって頂き、ご支援の下、設立・組織化を進めて参りました。

(敬称略)

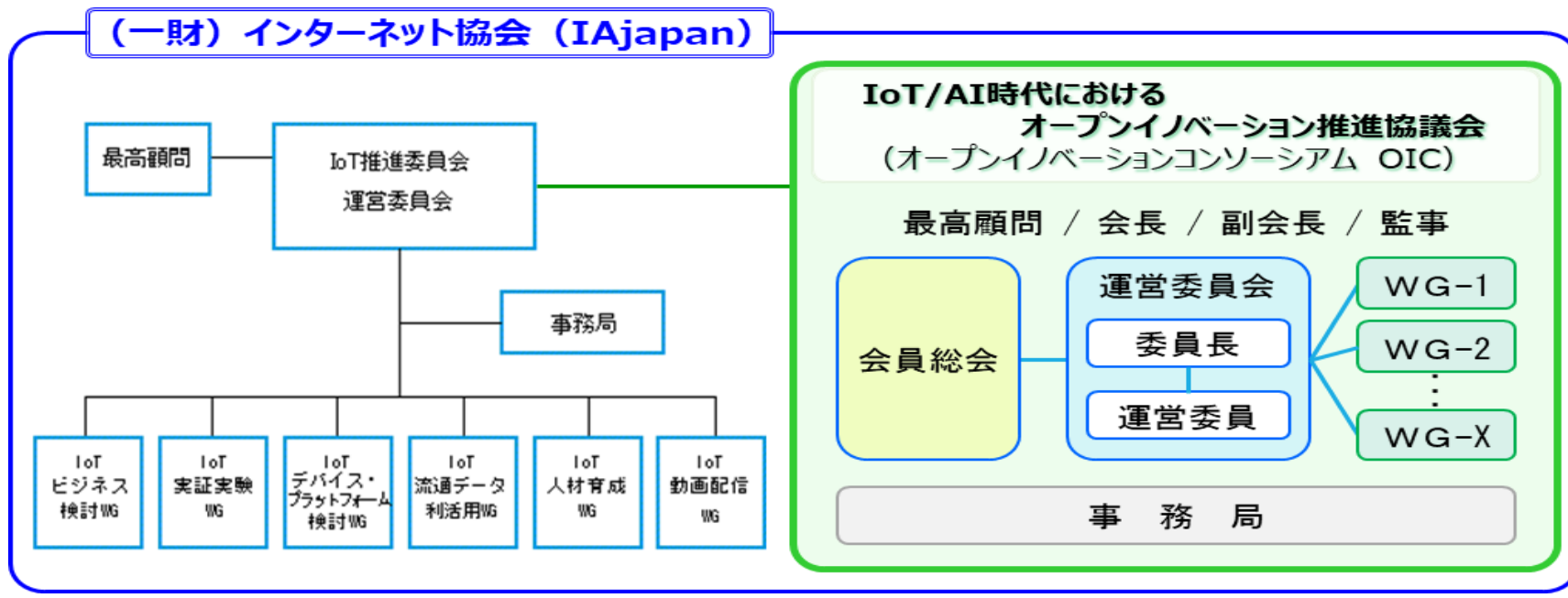
|              |   |
|--------------|---|
| 〔最高顧問〕 立川 敬二 | 一般社団法人 技術同友会 代表理事                                 |
| 〔会長〕 藤原 洋    | 一般財団法人 インターネット協会 理事長                              |
| 〔副会長〕 青木 孝文  | 国立大学法人 東北大学 副学長、情報科学研究科 教授                        |
| 〔副会長〕 大竹 尚登  | 国立大学法人 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 教授、副研究院長        |
| 〔副会長〕 小川 哲生  | 国立大学法人 大阪大学 副学長、教授                                |
| 〔副会長〕 財満 鎮明  | 国立大学法人 名古屋大学 理事・副総長                               |
| 上山 隆大        | 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員、<br>国立大学法人 政策研究大学院大学 客員教授 |
| 江崎 浩         | 国立大学法人 東京大学 大学院 情報理工学研究科 教授                       |
| 後藤 滋樹        | 学校法人 早稲田大学 理工学学術院 教授                              |
| 徳賀 芳弘        | 国立大学法人 京都大学 副学長、経営大学院 教授                          |
| 沼上 幹         | 国立学校法人 一橋大学 理事・副学長、大学院商学研究科 教授                    |
| 長谷山 美紀       | 国立大学法人 北海道大学 総長補佐、大学院 情報科学研究科 教授                  |
| 村井 純         | 慶應義塾大学 環境情報学部 教授、大学院 政策・メディア研究科 委員長               |
| 安浦 寛人        | 国立大学法人 九州大学 理事・副学長、教授                             |

以上 14名

## 【組織概要】

|     |  |
|-----|--|
| 名称  | IoT/AI時代におけるオープンイノベーション推進協議会（オープンイノベーションコンソーシアム OIC） |
| 所在地 | 〒113-0034 東京都文京区湯島2-21-1 長谷川ビル 3F 一般財団法人インターネット協会 内  |
| 設立日 | 2018年5月30日（4月1日設置）                                   |

## 【組織図】



## 【OIC活動方針】

OICは、IoT/AI時代にふさわしいオープンイノベーションの実現を図るため、

民間企業から国立大学等への研究開発投資を推進する加速組織体（アクセラレータ）として、

人財（“財”と捉えます）、知、資金の基盤強化や、その好循環システムの構築に関する各種支援機能を提供します。

これにより、OICは、  
『国立大学等の研究開発投資に関するハブ化と、  
民間企業自身の知識産業化の推進を図り、  
IoT/AI時代の共創型社会の実現と地域創生の推進に寄与すること』を目指して活動します。

## 【活動内容】

1. オープンイノベーションに関する調査・研究活動
2. 民間企業と国立大学等の研究開発ニーズとシーズのマッチング及び付帯する各種支援活動
3. 産学連携研究開発プロジェクトのPMO機能及び各種リソースの提供支援活動
4. オープンイノベーションモデルによる組織化や事業化のコーディネート及び社会実装や事業化に向けた各種関連機能の提供支援活動
5. 共創型研究開発投資基金等の組成と運用支援活動
6. 研究開発人財の教育・育成事業及びその関連機能の提供支援
7. 一般財団法人インターネット協会や連携先（リエゾン）が取り組むオープンイノベーション関連の各種支援活動
8. 他、OICの目的を達成するために必要な活動

## 【今年度2018年度の活動方針】

OICの活動範囲や内容は、変化・多様化する共創型社会の進展状況、また、地域創生の展開状況によって、**持続発展的に進化させることが必要であり、支援機能やサービスも、年々変化していくとともに、その活動範囲や内容も、必然的に多岐にわたることになると認識**しています。

**時代に合った、かつ、会員の皆様に喜んで頂けるものを、会員の皆様と一緒に考え、構築し、提供するとともに、会員の皆様の積極的な活動による成果や効果の有効活用も図りながら、より良いOICの仕組みづくりと創造を推進**します。

### 1. 調査・研究開発活動 (R)

OICの目指す姿の実現に向けて、会員相互のWG活動等を通して、オープンイノベーションに関する各種の課題・問題の洗い出し、その解決策や達成方策に関して、人財や組織・基盤、資金や仕組み等々、「人、もの、金、情報、システム」の経営リソース面から検討し、今後の支援方策も含め、次なるOIC展開の基礎作りを推進。

### 2. 研究開発投資等の相談窓口活動 (M)

会員個々の具体的な要望に基づく研究開発投資に関連する相談受付、またコンシェルジェ機能の提供、研究開発投資要望の大学等への展開など、研究開発投資に関する相談窓口として、会員の皆様の支援を実施。

### 3. 情報提供活動 (I)

大学等のシーズ情報やWG活動情報、テクニオン（イスラエル工科大学）を中心としたイスラエルのイノベーションに関するトピックス等、オープンイノベーションに関する各種の情報提供を実施。

### 4. 知識交流・還流活動〔セミナー、イベント、サロン〕 (S)

オープンイノベーションに関するセミナー開催、人財交流・還流を目的としたワークショップやイベント開催、会長を囲む会（少人数制の夕食・意見交換会）等、オープンイノベーションに関する知識交流や還流の場と機会を提供。



## 【今年度2018年度の活動計画】

設立初年度である今年度は、以下の通りの活動を計画します。

### 0. 組織・運営活動 (C)

5月中のOICの設立準備（発起人会）、並びに、設立総会を起点に、協議会活動をスタートするとともに、9月、12月、3月の各定時運営委員会、また、3月の年次総会の開催を予定画。

### 1. 調査・研究開発活動 (R)

OICの目指す姿の実現に向けて、会員相互のWG活動等を組成し、2ヶ月に1回程度の会合を開催。これにより、オープンイノベーションに関する各種の課題・問題の洗い出し、その解決策や達成方策について検討することで、今後の支援方策も含め、次なるOIC展開の基礎作りを推進。

### 2. 研究開発投資等の相談窓口活動 (M)

会員個々の具体的な要望に基づく研究開発投資に関連する相談やコンシェルジュ機能の提供、研究開発投資要望の大学等への展開など、研究開発投資に関する各種相談窓口業務を、OIC事務局が随時受付。

### 3. 情報提供活動 (I)

大学等のシーズ情報やWG活動情報、テクニオン（イスラエル工科大学）を中心としたイスラエルのイノベーションに関するトピックス等、オープンイノベーションに関する各種情報をメール配信等により、概ね月1回程度、会員の皆様に提供。

### 4. 知識交流・還流活動〔セミナー、イベント、サロン〕 (S)

オープンイノベーションに関するシンポジウム・セミナーを年度内3回程度、また、人財交流・還流を目的としたワークショップやイベント、藤原会長を囲む会（少人数制の夕食・意見交換会）等を年度内3回程度開催し、オープンイノベーションに関する知識交流や還流の場と機会を、会員の皆様に提供。

## 【会員種別と会費】

会員の皆様には、会員種別に基づき、入会時に入会金を、また、毎年度の会費として、年会費をご負担頂きます。なお、既に一般財団法人インターネット協会 (IAJapan) の会員の方につきましては、OICの入会金は免除されます。

| 会員種別    |     | 入会金(*) | 年会費   | 会員権利等   |
|---------|-----|--------|-------|---|
| 法人      | A会員 | 20万円   | 120万円 | 会員として、OICが行う活動に関するすべての権利を有し、OICが提供する各種の支援やサービスに関して、無償、または、会員価格にて受ける権利を有する。                                |
|         | B会員 | 20万円   | 60万円  |   |
| 個人会員    |     | なし     | 12万円  | 会員として、OICが行う活動のうち、知識交流・還流活動への参加権利を有するほか、OICが提供する会員向け情報提供活動へのアクセス権を有する。他の支援機能やサービスに関しては、有償にて、これを受ける権利を有する。 |
| アカデミア会員 |     | なし     | 24万円  | 会員として、OICが行う活動に関するすべての権利を有し、OICが提供する各種の支援やサービスに関して、無償、または、会員価格にて受ける権利を有する。                                |
| 特別会員    |     | なし     | なし    | 会長がOICの活動に特別に寄与すると認めた個人・団体(関係府省庁、地方公共団体を含む)。会員として、OICが行う活動に関し、会員総会での議決権を除くすべての権利を有する。                     |

OICと共に自らの知識産業化を図り、共創型社会の実現と地域創生の推進を目指しましょう！

# 入会案内 -2-

## 【事務局連絡先】

〒163-1512

東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー12F

株式会社インターネット総合研究所

社会共創研究所 内

担当；佐々木、大塚、狩野

E-mail : oic-info@iajapan.org

TEL : 03-5925-8971

FAX : 03-5925-8944

本日、全体会合へ参加の皆さん！

OICへのご入会を心よりお待ちしております。

なお、ご不明な点や詳細説明のご依頼等がございましたら、何なりと事務局へお問い合わせ、ご連絡下さい！



IoT/A時代におけるオープンイノベーション推進協議会 事務局 行

### 入会申込書

本協議会への入会を申し込みます。

申込年月日 平成 年 月 日

■会員の種類（以下のいずれか1つに○をつけてください。）

|                     |                          |  |
|---------------------|--------------------------|--|
| 法人会員A               | <input type="checkbox"/> | OICの目的及び事業に賛同する企業又は団体で、<br>資本金10,000,000円以上又は従業員31人以上の法人 |
| 法人会員B <sup>*1</sup> | <input type="checkbox"/> | OICの目的及び事業に賛同する企業又は団体で、<br>資本金10,000,000円以下又は従業員30人以下の法人 |
| アカデミア会員             | <input type="checkbox"/> | OICの目的及び事業に賛同する大学、研究機関、TLO等の大学傘下の企業                      |
| 個人会員                | <input type="checkbox"/> | OICの目的及び事業に賛同する個人  |

\*1：資本金10,000,000円以上または従業員31人以上の法人であっても、その一部組織が会員となる場合は、B会員として加入することができます。

■会員としてお申し込みになる法人または部門について

|   |      |  |
|---|------|--|
| 法人の名称                                     | フリガナ |  |
| 入会する部門 <sup>*2</sup><br>(部門単位で入会する場合のみ記入) | フリガナ |  |
| 法人または部門の代表者                               | フリガナ |  |
| ウェブサイトURL                                 |      |  |

●インターネット協会の会員ですか？<sup>\*2</sup> (いずれかに○をつけて下さい。)

はい  いいえ

\*2：既にインターネット協会の会員の場合は、OICの入会金は免除されます。

●お申し込みになる法人または部門の業務内容または研究内容を簡単に記入下さい。

|  |
|--|
|  |
|--|

■連絡ご担当者について

|         |      |       |
|---------|------|-------|
| 氏名      | フリガナ |       |
| 所属      |      |       |
| 役職      |      |       |
| 住所      | フリガナ |       |
| 電話番号    |      | FAX番号 |
| メールアドレス |      |       |

【お申込み手順】

- ① 入会を希望する会員の種類に○をつけ、記入欄に必要な事項を記載して下さい。
- ② 捺印の上、以下のお申込み先まで、郵送、E-mail、または、FAXでご送付下さい。
- ③ 事務局で受付・承認後、入会金・年会費の請求書をご担当者宛にお送りします。
- ④ 請求書に記載されている期日までに入会金・年会費をご入金下さい。
- ⑤ ご入金を確認でき次第、事務局より入会手続き完了のご連絡を差し上げます。

【お申込み先】

IoT/A時代におけるオープンイノベーション推進協議会事務局  
E-mail : oic-info@iajapan.org  
〒163-1512 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー12F TEL: 03-5925-8971  
御インターネット総合研究所 社会共創研究所 内 FAX: 03-5925-8944

*IA japan*